

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第9回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）各種団体との意見交換会・勉強会について（公開）

（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」（公開）

（3）自主的審議事項「三郷の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」
（公開）

3 開催日時

令和3年3月19日（金） 午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荻戸 正、平田 清、平田伸一、
山口典夫、渡部弘美

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

8 発言の内容

【田中主任】

- ・吉田委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言

- ・会議録の確認：渡部委員、市村委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

一次第3議題（1）各種団体との意見交換会・勉強会について—

【竹内会長】

次第3議題（1）各種団体との意見交換会・勉強会についてに入る。

前回の会議で、各種団体との意見交換会・勉強会は4月以降に順次実施していくこととなり、その日程は正副会長に一任された。そこで、委員が自ら三郷区を知るという観点から、まずは三郷区の人口推計や健康課題といった基本的なデータについて市の担当課から説明してもらうのはどうか。前期の委員が「三郷区の人口減少について」を自主的審議事項として取り上げ、人口減少の傾向等について市から説明を受けたことがあった。時間も経っており、また、委員の改選もあったことから再度その説明を聞いてみてはどうかと思う。また、三郷区の健康課題は、他の会議で地域ごとに統計データがあると聞いた。正副会長で協議し、人口推計だけでなく健康課題も含めて説明を受けたらどうかという意見にまとまった。については、三郷区の人口推計と健康課題について市の担当課から説明を聞く勉強会を実施したいと思う。

このことについて意見のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

具体的にどのような段取りで進めていくのか。日程的なことなど教えてほしい。

【竹内会長】

年度末であることや担当課との調整も必要なため、今の段階でははっきり決まっていない。

【田中主任】

まずは本日、委員の皆さんから勉強会の実施について了承いただく必要がある。まだ何月何日とは決まっていないが、人口推計については上越市創造行政研究所から、健康課題については健康づくり推進課に説明を依頼したいと思っている。本日勉強会を実施することが決定したら、早急に担当課と日程を調整し、早いうちに実施できればと考えている。

【平田伸一委員】

できれば資料だけでも先にもらって目を通せるくらいの日程で進めた方が、勉強会として進めやすいと思うので、ぜひそのような形で進めてほしい。

【竹内会長】

事前に資料を配布して委員の皆さんに見てもらえるよう、調整しながら進めたいと思う。

三郷区の人口推計と健康課題について、市の担当課から説明を聞く勉強会を実施することを諮り、委員の了承を得る。

実施内容は詳細が決まり次第、皆さんにお示しする。

以上で次第3議題（1）各種団体との意見交換会・勉強会についてを終了する

— 一次第3議題（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」 —

【竹内会長】

次に、次第3議題（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」に入る。

前回の会議では、「三郷地区公民館の整備について」と「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」の2件を自主的審議事項として審議していくことが決まり、今後の進め方については正副会長に一任された。本日はその進め方について正副会長で検討した案を示し、皆さんと協議していきたい。まずは、資料No.1 自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」今後の協議の進め方（案）について保坂副会長に説明を求める。

【保坂副会長】

- ・資料No.1に基づき説明

【竹内会長】

委員の皆さんも三郷地区公民館の現状は分かっていると思うが、いろいろと不便さを感じる場所があると思う。その状況をまず委員の皆さんと把握しながら、この審議を進めてはどうかと思う。まどろっこしいかもしれないが、まずは知ることが大事だと思うので、このような案とした。進め方について意見等のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

三郷地区公民館をよく見ること、あるいは利用者の意見を聞くことはすごく大事なことだと思う。ただ、現在コロナ禍で利用が非常に減っている。また、例えばこの集会室は15人以下といった利用制限もかかっている。そんな時期に、どの辺を調べるのか。それに対してどうしていくのかということが一つ。それから、三郷地区公民館だけを見ても仕方ないので、先進的に設置された施設を視察することがあっていいような気がする。具体的には、高士地区で公民館の機能とこどもの家の機能、高齢者の趣味の家のような工芸もできる設備を備えた複合的な施設を作っている。そういうところに行き実際に勉強することも必要な気がする。もっと他にいいところがあれば、そういったところにも行くべきだと思う。

【竹内会長】

前期の委員でも他区の施設に視察に行った経緯がある。確かに高士地区公民館は三郷地区公民館と比べると雲泥の差である。同じ上越市にありながら、そういう施設がある一方で、なぜこちらはこうなんだという疑問もあると思う。他区の施設を視察することも大事なことだと思う。

【平田伸一委員】

今期12人の委員のうち4人は再任の委員である。前期から務めている委員は既に勉強してきているかもしれないが、我々一年生はそういうところから始めていかないと分からない部分もあるので、考える際は目線をそういうところに置いてスタートしてほしい。

【竹内会長】

当然その辺も視野に入れながら検討していかなければならないと思っている。今の意見も含めて今後進めていきたいと思う。

【山口委員】

今ほど平田伸一委員からも意見があったとおり、前期の委員の間でもまず足元を見つめる上でそういったところを見て勉強しようという話が出て実施した。その話の中で、市外に行って先進的な施設を見るのも一つの手だが、まずは28区の中で新たに作った施設があるのではないかという話が出た。事務局から調べてもらい、当時は名立区の施設に視察に行った。そこも複合的な施設だった。新しい施設なので非常に使い勝手がよく、その時は絵画の展示会などを行っていた。名立区の振興会等で運営していたと思う。当時の名立区地域協議会の会長も挨拶の中で、市外に視察に行くのではなく地元に来てもらったことは非常にいいことだと言っていた。まず市内で足元を見て、どのような施設を作ったらいいかということも、これから皆さんと話しながら意見書の検討をしたらいいと思う。

【竹内会長】

新任の委員も多いので、他の施設を見て三郷区に足りない装備やグレードアップできるところなどを検討していければと思っている。今の意見等も踏まえ、他の施設の視察に行ったり、研修会を開いたり、意見交換会をしながら進めていきたいと思う。資料No.1の①「公民館に関する協議や要望の経過を確認」から進めて、⑥「市への意見書の提出」を目指すことで進めて行きたい。このような進め方でよいか。

【平田伸一委員】

資料No.1の最後に⑥「市への意見書の提出」とあるが、これはいつ頃を目途にするのか。協議して決めるのか。

【竹内会長】

今この段階で、いつ頃という時期は決めていない。三郷まちづくり振興会は毎年要望書を提出しているが、地域協議会も足並みをそろえることはなかなか難しいと思う。それもこの協議を進める中で決めていければと思っている。

【平田伸一委員】

ある程度ゴールというか、目標を定めておいた方がいいような気がする。

【竹内会長】

今の意見も踏まえながら①から取り組む中で、次回の会議では大体の目途等を決めて進めていきたいと思う。

自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」今後の協議の進め方は、正副会長案のとおりとしてよいかを諮り、委員の了承を得る。

それでは次回の会議以降、資料No.1の①から⑥まで順に取り組んでいきたいと思う。進めていく中で方向修正等が出てくる可能性もあるが、その辺は皆さんと協議しながら進めていきたい。

以上で、次第3議題（2）自主的審議事項「三郷地区公民館の整備について」を終了する。

一次第3議題（3）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」――

【竹内会長】

次に次第3議題（3）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」に入る。

資料No.2 自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」今後の協議の進め方（案）について保坂副会長に説明を求める。

【保坂副会長】

- ・資料No.2に基づき説明

【竹内会長】

「春駒」については、私自身も今回この自主的審議事項で初めて話を聞いた。私の子どもたちも「知らない」「記憶にない」と言うので、その頃は小学校で子どもが地域の人に習うという動きもなかったと思う。そういうこともあり、私自身もこういう郷土芸能があること自体全く知らなかった。昨年「わがまち三郷再発見マップ」の作製に編集委員として携わったが、元々の課題が違うこともあり、こういった文

化財の話は出なかった。こんな郷土芸能が三郷区にあったということを初めて知って驚いたところである。現状では、私たち委員が「春駒」の歴史や踊りなどについてその実態をまずは知ることから始めてはどうか。どういう形で知っていくか、どういう形で体験していくかについては、委員で協議しながら進めていきたいと思う。松波会という保存会があったという話も以前聞いたことがあるが、その状況について情報はるか。平田伸一委員より説明を求める。

【平田伸一委員】

松波会という保存会は西松野木と下四ツ屋の有志でやってきたと思う。ただ私の知っている範囲では、もう20年くらい前に活動をやめていると思う。もっと前かもしれない。そんなことで、今は休会扱いとなっているが、実質的にはもう実態がないような状況かと思う。本当に掘り起こしていかないといけないと思う。今やらないとなくなってしまうような気もする。下四ツ屋には、その当時活動していたと思われる人が2、3人はいるかと思うが、それより年配の人は亡くなっており、実際はもう関わっていない状況だと思う。西松野木の方も同じで、本当に細々とやっているような感じだと思う。実際に「春駒」について勉強することになった場合、両町内の町内会長を通して話を持っていく運びにしないと地域に入っていくいけないと思う。町内会長を通してその活動をしていた人を紹介してもらい、こちらから出向いてその人からいろいろな話を聞くなど、そういった段取りになると思う。今年の1月に下四ツ屋町内会の役員引継ぎ会に出席した際に、「地域協議会で『春駒』が話題になっており、話がくるかもしれないので町内会長に承知しておいてほしい」と伝えてある。小山委員からも情報はるか。

【小山委員】

私も詳しくは分からないが、結婚式などのお祝いのときに踊る「お祝いの踊り」だと聞いている。広い場所を使わずに半紙1枚の上で踊れる踊りだとも聞いている。息子が小学3年生のときに、小学校の総合の時間で地域を知る探検をした。その時の担任が下四ツ屋と西松野木に「春駒」という踊りがあるとたどり着いてくれたのがきっかけで、「春駒」を踊れる人はいないのかとなり、我が家に白羽の矢が立った。祖母ともう1、2人が小学校に踊りを教えに出向いた。その後、小学校では「春駒」

を文化祭の学習発表会の時に踊っていた。その祖母はもう亡くなってしまい、なかなか踊れる人がいなくなった。2、3年ぐらい前に、当時の小学3年生の児童の祖母である石川さんが松波会の一員だったということで踊りを教えに行った際、たまた息子も踊りを覚えているので一緒に教えに行った。以前会議で息子から踊りを教えてもらえるかと声をかけてもらったが、この春から遠いところに就職が決まったため、教えに来られる状態でなくなってしまった。それで今日は自宅から松波会の資料を持ってきた。とてもいい映像資料だがVHSの状態である。平成7年にテレビで放送されたもので、観桜会で下四ツ屋の駒沢さんが「春駒」の由来など全て話しているのがこの中に収められている。松波会の人たちが踊った映像も当然入っているが、VHSなので簡単には見られない状態である。また、娘が小学校の時に文化祭で踊った映像がDVDで残してあったので、先ほど事務局に預けた。それを見てもらえれば、踊りは何となく分かると思う。音源も最初はテープだったが、伸びてしまうのでCDに録音し、1枚は自宅で保管し、もう1枚は学校に寄付してある。いつでも学校で使えるようになっている。資料はメモ用紙のような状態だが、そのまま残っているので、見たい人がいれば見てもらえればと思う。

【平田伸一委員】

先ほど20年くらい前まで活動していたと説明した。当時の活動としては、文化会館で市民芸能祭というイベントが毎年秋頃にあり、それに参加していたはずである。また、私が子供の頃なのでもう何十年も前の話だが、小学校の運動会で松波会の人々がグラウンドで踊って披露したこともあった。それから今ほども説明があったが、観桜会の時にステージで上演したこともあったと思う。保存されている資料がどの程度残っているか分からないが、小山委員もそういった貴重な資料を持っているので、この保存・活用方法についても考えていかないといけないと思う。

【竹内会長】

今回こんなにいい資料が出てきて、何となく前が見えてきた気がする。VHSもCDにダビングできると思う。もっと奥底から掘り起こさなければならないと思っていたが、かなり参考になる資料だと思う。「春駒」とは何かというところから知ることができる資料だと思う。

【平田伸一委員】

地域協議会で「春駒」に関わるのはいいが、何をゴールにするのか。委員の任期4年間が終わったら、委員は離れてしまう。そうなった場合、三郷区の中で何を残すのか。何を仕掛けていくのか。ただし、地域協議会は事業の実施主体にはなれないので、地域に理解してもらい地域の人を中心となって保存する活動を復活して、続けてもらうような仕組みや仕掛けを整えていく。その辺が、地域協議会委員としての限界かと思うし、ゴールのような気がする。中途半端な形で関わって終了というわけにはいかない。そういう意味で、相当覚悟を持って関わっていく必要があると私は理解している。今日はせっかく小山委員からそういう資料を披露してもらったので、これを具体的にどうするかも話したらいいと思う。

【竹内会長】

ただ単に関わって、ただかき回すだけで終わってしまうことにはしたくないと私自身も思っている。事業主体はどういう形になるか分からないが、西松野木と下四ツ屋で団体を組織し、地域活動支援事業を活用しながら資料をデジタル化して後世に残していくことも一つの方法かと思う。実際に踊れる人は小山委員の説明にもあったとおり、もうかなり少ないのか。

【小山委員】

教えられるのはおそらく1人しかいないと思う。

【竹内会長】

それも高齢の人か。

【小山委員】

そうである。座って教えていて、隣で息子が立って教えていたと思う。

【山口委員】

せっかくいい資料がある。令和3年度の地域活動支援事業も、議会が終わって予算も議決されると思う。三郷まちづくり振興会等で協議して、CD等々にダビングすることが可能であれば、早速そこから始めたらどうか。それを見て、委員で残すことができる。あるいは素人でも踊り手になることができることを切り口にして、まず種を蒔かないと芽が出ないと思う。昨年「わがまち三郷再発見マップ」を作製

したが、そろそろ芽が出てきている。各公民館へマップを置かせてもらったところ、他区から「うちの区も作りたい」「三郷区はどのようにして作ったのか」と照会があったそうである。三郷区を知らない人も分かるし、『春駒』はどこでやっているのか「三郷区だけなのか」「三和区にもある」などそういうところから始まって、人の交流もできたりする。ゴールは必要だが、まずそのいい資料にアプローチしたらどうか。

【竹内会長】

実際インターネット等で「春駒」と調べると、該当するものが結構ある。三和区の「岡田の春駒」などがそうだが、同じ「春駒」でありながら踊り方や使う道具が違う。そこもやはり伝承の仕方があるようなので、そのことについて意見交換なり勉強会なりも必要かもしれない。そういうことも検討していければと思う。令和元年11月には妙高市のホールで三和区の「岡田の春駒」が踊ったとの記事もインターネットで確認した。そこには全国の「春駒」が一堂に揃ったようだ。平田伸一委員の意見のとおり、ただかき回すだけでなく、ある程度結果の出るような形で進めていきたいと思う。小山委員からも貴重な資料を提供してもらったので、実際我々も1回見てみたいと思う。三郷小学校の児童が踊った映像もあるということなので、それを次回以降見ながら、まずは「春駒」とは何かというところから進めていければと思っている。

詳細な進め方は正副会長に一任でよいかを諮り、委員の了承を得る。

難しい場面もあるかもしれないが、委員みんなである程度結果が出るように取り組んでいきたいと思う。

以上で次第3議題(3)自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」を終了する。

—次第4 事務連絡—

【竹内会長】

次第4 事務連絡について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 次回会議：令和3年4月20日（火）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・ 内容（予定）：「春駒」の映像資料等の視聴等
- ・ 当日配布資料：三郷区地域協議会だより第44号（令和3年3月25日発行）
高田区における「内水ハザードマップ」作成及び住民への周知について（意見書）の写し

【竹内会長】

ただいまの事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

地域協議会だよりの裏面に地域活動支援事業の活動状況が掲載されている。これらは既に事業結果が市へ報告されていると思うので、決算額も掲載してはどうか。当然事業が終わっていれば額が決まっているので、そういう情報も入れてはどうか。金額が入ればもっと分かりやすいと思う。

【堀川センター長】

次回発行の地域協議会だよりで全ての地域活動支援事業の実績報告を掲載する予定である。昨年は、10月の地域協議会だよりで全ての事業の事業費と補助金額を一覧で載せた。今回はこのような活動内容の紹介という形で掲載し、その後に実績報告を掲載する。

また、次回の会議では3月31日までに完了した事業の結果概要書を、全てまとめて委員に配布する予定である。

【竹内会長】

次回発行の地域協議会だよりに掲載されるとのことである。また編集委員として確認していきたいと思う。4月に入ると令和3年度の地域活動支援事業の募集も開始となる。現在、三郷区で事前の相談などは寄せられているか。

【田中主任】

現時点では相談は特にない。

【竹内会長】

委員の皆さんからも、地域に戻って地域活動支援事業の活用について話があれば

相談に乗ってもらいたいと思う。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。